

DI (Diffusion Index=景気動向指数) とは
各調査項目について、好転企業割合から、悪化企業
割合を差し引いた値を示し、景気の現状把握や将来
の見通し予測を行う。

DIがプラスなら……好転、上昇基調

DIがマイナスなら……悪化、下降基調

記号の見方

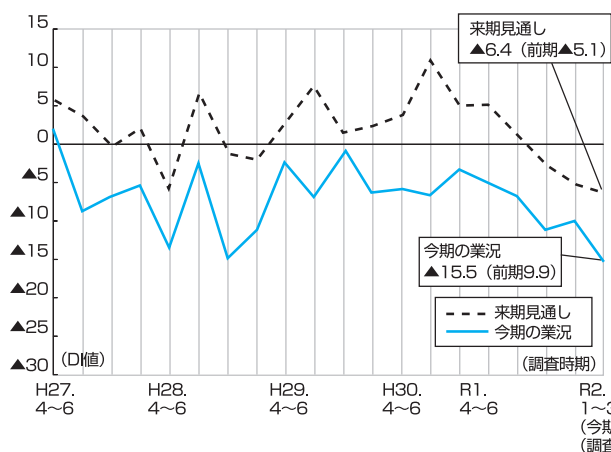
DI値	-25以下	-25~-10P未満	-10~-10P未満	10~25P未満	25P以上
景況	特に悪化	悪化	横ばい	好転	特に好転
	↘	↘	→	↗	↗

鹿児島商工会議所

景況調査

調査期間 2020年1月~3月
回答企業数 112社

■業況DIの推移



平成27年4月期以降で最も厳しい見通しである。

【来期(令和2年4~6月期)の見通し】
全産業の来期見通しは、▲6・4
(前期比マイナス1・3) ポイント
であった。産業別では、特に小売業
とサービス業で厳しい見通しとなっ
ている。

【今期(令和2年1~3月期)の景況】
全産業の業況DI値は、▲15・5
(前期比マイナス5・6) ポイント
で前期より後退した。産業別に見ると、
小売業とサービス業においては大きく
後退している。

今期業況は全体的に後退。

来期もコロナウイルスの影響により厳しい見通し。

■産業別DI値表

		前期 [2019.10~12] (A)	今期 [2020.1~3] (B)	増減 (B)-(A)	来期見通し [2020.4~6]	
業況	全産業平均	▲9.9	▲15.5	▲5.6	▲6.4	→
	製造業	▲15.6	▲21.7	▲6.1	▲9.1	→
	建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	→
	卸売業	▲31.8	▲28.6	3.2	6.7	→
	小売業	▲4.3	▲20.0	▲15.7	▲15.0	↘
	サービス業	▲2.9	▲14.3	▲11.4	▲10.7	↘
売上額	全産業平均	▲13.3	▲11.6	1.7	▲10.0	↘
	製造業	▲25.0	▲30.4	▲5.4	▲26.1	↘
	建設業	0.0	12.0	12.0	▲12.0	↘
	卸売業	▲37.5	▲26.7	10.8	13.3	↘
	小売業	8.3	4.8	▲3.5	5.3	→
	サービス業	▲11.4	▲21.4	▲10.0	▲17.9	↘
資金繰り	全産業平均	▲4.9	▲9.0	▲4.1	▲9.9	→
	製造業	▲6.3	▲26.1	▲19.8	▲4.4	→
	建設業	3.6	4.0	0.4	▲12.0	↘
	卸売業	▲20.8	▲20.0	0.8	0.0	→
	小売業	▲12.5	▲5.0	7.5	▲15.0	↘
	サービス業	5.7	▲3.6	▲9.3	▲14.3	↘
採算	全産業平均	▲7.0	▲8.3	▲1.3	▲6.4	→
	製造業	0.0	▲26.1	▲26.1	0.0	→
	建設業	6.9	4.4	▲2.6	▲16.7	↘
	卸売業	▲30.4	▲6.7	23.7	13.3	↘
	小売業	▲17.4	0.0	17.4	▲10.5	↘
	サービス業	▲2.9	▲10.7	▲7.8	▲10.7	↘

【今期の売上額・資金繰り・採算】
全産業の売上額DI値は、▲11・6
(前期比プラス1・7) ポイント
とやや増加。建設業と卸売業は好転
したが、サービス業は後退した。
全産業の資金繰りDI値は、▲9・0
(前期比マイナス4・1) ポ
イントで後退した。特に製造業では
大きく後退した。

【回答企業のコメント】
・コロナウイルスの今後の経済活動
への影響を心配する。(小売)
・コロナウイルスでイベントが中止
になった。サービス業にとって今
回のコロナウイルスの影響はとて
も深刻だ。(サービス)
・新規顧客開拓や販売先への取り組
み強化を図りたい。(卸売)
・営業力の強化・新商品の開発に取
り組む。(製造)